

2024 年度朝鮮族研究学会 全国大会

日時：2024 年 11 月 10 日（日）

場所：上智大学四谷キャンパス 2 号館 410 室

対面とオンラインのハイブリット方式による開催

09:30-10:00 午前の部 受付

10:00-10:05 開会あいさつ 鄭雅英（立命館大学）

午前の部 会員報告

司会：李娜（山梨学院大学）

第 1 報告

10:05-10:30 李俐穎（早稲田大学大学院）

「中国朝鮮族の伝統的居住地域における文化伝達と教育
——牡丹江市在住の朝鮮族を中心に」

10:30-10:35 討論 李海燕（東京理科大学）

10:35-10:40 応答

第 2 報告

10:40-11:05 許秦（東京大学）

「中国延辺朝鮮語の単母音 / ㅏ / と / ㅓ / の音価における通時的変化」

11:05-11:10 討論 平田絵未（大谷大学）

11:10-11:15 応答

第 3 報告

11:15-11:40 崔佑吉（韓国鮮文大学）

「清津開港と日本人の活動——淺岡重喜の生涯を中心に」

11:40-11:45 討論 木村健二（下関市立大学名誉教授）

11:45-11:50 応答

11:50-13:00 昼食

13:00-14:00 会員総会

14:00-17:30 午後の国際シンポジウム

共同主催：朝鮮族研究学会、上智大学アジア文化研究所

「朝鮮抗日運動と中国東北地域社会」

趣旨：中国東北地域の朝鮮抗日運動は、いかなる人々によって主導され、いかなる理念を志向して展開されたのか。中国の中央・地方政府とどのような関係を維持し、いかにして東北地域社会を支持基盤に取り込もうとしたのか。朝鮮抗日運動に対する取り締まり、弾圧の実態はいかなるものであったのか。また、韓国社会、韓国史学界は朝鮮抗日運動をどのように評価してきたのか。本シンポジウムは韓国史学界の第一人者を講演者に迎え、朝鮮抗日運動史研究の回顧と展望を試みる。

司会：谷川雄一郎（神奈川大学）

14:00～14:10：開会の辞・趣旨説明：鄭雅英（立命館大学）

14:10～15:20：基調講演：張世胤（成均館大学）

「朝鮮抗日運動と中国東北地域社会」

15:20～15:40：休憩

15:40～16:30 討論

李雪明（武蔵野大学）

権太杰（中国・大連大学）

田中隆一（立命館大学）

16:30～17:20 質疑応答・全体討論

17:20～17:30 閉会の辞：権香淑（上智大学）

張世胤：成均館大学東アジア歴史研究所首席研究員。著書に『中国東北地域民族運動と韓国現代史』（2005）、『洪範図の独立戦争』（2007）、『梁世鳳』（2016）、『日帝強占期虐殺された韓国人』（2021）などがあり、近著『中国東北地域独立運動史』（2021）で韓国独立記念館賞を受賞。

お問い合わせ：chaoxianzu@hotmail.com